

本町通り商店街エリア ウォーカブル勉強会（第5回）

【開催概要】

- ・ 日 時：令和6年6月27日（木）
19:00～20:30
- ・ 場 所：本町BASE（Web併用）
- ・ 内 容：①大垣市の取組事例
②セキ日和の報告
③生活社会実験の時点報告
- ・ 参加者：約20名
地域住民、観光・商工関係者
まちづくりに興味関心のある方



②マルシェ「セキ日和」報告

（講師：株式会社セキ日和 代表取締役 平野氏）

■セキ日和の活動と目的

- ・ 昭和中期から後期の景観を残せば関のまちの重要な個性になる
- ・ 中心市街地に残るレトロな町並みを守り、活かすために、マルシェとワークショップを開催

■マルシェの報告（6/1開催）

- ・ 本町1～8丁目の空き店舗等32件に53店舗が出店
- ・ 20代～30代の女性を中心に約2,000人が来場
- ・ 本町通りの新たな発見につながった
- ・ 地域からは複数回を開催を希望する声や短期的な貸し出しやコラボの可能性が聞かれた



セキ日和当日の様子

①岐阜県大垣市の取組事例

（講師：大垣市都市計画課 安藤氏）

■取組事例

- ・ 新型コロナウイルス拡大時に特例措置を活用し、公共空間で飲食店等が出店可能となり、賑わい創出に寄与（令和2年7月～）
- ・ エリアの一体的な回遊性高めるため、「みち」を機として、「広場」「公園」「水辺」の公共空間の活用を市が占有・使用主体となり一括して関係機関との調整を実施
- ・ 「みち」をきっかけに「まち」との関わりしろを創出
- ・ まちなかを照らすきっかけづくりを継続的に実施



まちなかスクエアガーデンの様子（大垣市HPより）

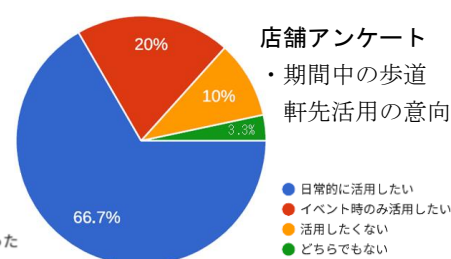
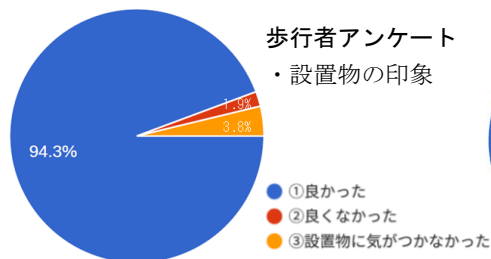


かわまちテラスの様子（大垣市HPより）

③生活社会実験の時点報告

○内容

- ・ 令和6年5月31日から7月31日まで、歩道と軒先の利活用を検証する生活社会実験を実施中
- ・ 歩道上の白線内側が自由に活用できるスペースとして確保



設置物の利用状況



歩道・軒先の活用状況（休憩施設の設置や商品販売の実施）

